

1. 科目名（単位数）	精神保健福祉実習指導Ⅲ（2 単位）	3. 科目番号	SCMP3185
2. 授業担当教員	三野 宏治		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	精神保健福祉実習指導Ⅲは、実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲと精神保健福祉実習を軸として継続的に展開するように構成されている。これらの授業の主な学習方法は、資料による情報収集、文献調査、グループ討議、ロールプレイ等多様な方法を用いて、社会福祉実践に必要な知識と技能の具体的な学習、また実習前・中・後指導を通じて、理論と実践との統合を図ることを目的としている。 精神保健福祉実習指導Ⅲでは、精神保健福祉実習（A 実習）と並行して開講されており実習帰校指導と位置付けている。（実習）実践を通じて課題となる事項を、本講義内で担当教員からのスーパービジョン、またグループ、報告・発表を用いて学生間で検討し、その結果を再び（実習）実践へと結び付ける。（実習）実践と講義との相互作用を通じてソーシャルワーク実践に必要な専門技術と知識を統合化する。さらに、精神保健福祉実習（B 実習）の準備と事後学習も行う。		
8. 学習目標	精神保健福祉実習指導Ⅲが終了した時点で、以下の目標を達成することが期待される。 ①精神保健福祉士が行うソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実的に理解し実践的な技術を体得する。 ②精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ③具体的な実習体験を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を寛容する。		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	1. 実習体験における事例の報告 2. A 実習の進捗状況の報告（帰校指導報告書の作成） 3. A 実習の実習総括レポートの作成 4. B 実習の実習総括レポートの作成		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『ソーシャルワーク実習指導・実習（精神保健福祉専門）』中央法規出版 東京福祉大学『精神保健福祉実習の手引き』 ※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士実習 学習の手引き』 ※講義にて配布 【参考書】 精神保健医療福祉白書編集委員会編集『精神保健医療福祉白書』中央法規出版		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 2 種の実習の振り返りから学びと課題を整理、言語化できる。 2. 実習に際して必要な各種書類を期限内に提出できる。 3. 精神保健福祉士が行うソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実的に理解し実践的な技術を修得した。 4. 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を修得した。 5. 具体的な実習体験を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を修得した。 ○評定の方法 1. 授業時の提出物 20% 2. 実習総括レポート 50% 3. 授業への積極的参加態度 30%		
12. 受講生へのメッセージ	本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。 1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。 2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 3. 欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもF 評価になるので注意すること。 5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。 教員は以下のことを実行する。 1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。 3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加（発言、発表等）できるよう双方向対話型の学習環境を作る。 4. 遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。		

13. オフィスアワー		担当教員より初回の演習時に提示する。	
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	・精神保健福祉実習指導Ⅱの振り返りと確認 ・精神保健福祉実習指導Ⅲの内容、進め方の説明 ・精神保健福祉実習（B実習）に向けて、実習計画の作成	事前学習	ソーシャルワーク基礎実習の自身の課題を振り返り、精神保健福祉実習（B実習）開始前に取り組むべきことを確認する
		事後学習	実習開始に備える
第2回	・精神保健福祉実習の目的と内容の理解：精神保健福祉実習の全体像と目的、課題についての理解 精神保健福祉実習の実習計画の作成と添削①：「実習プログラムシート」の理解と活用	事前学習	「実習の手引き」に目を通す。
		事後学習	授業での学びをまとめる
第3回	・精神保健福祉実習の実習計画の作成と添削② ※精神保健福祉実習開始前までに実習指導 3 担当教員から添削指導を受けた実習計画を実習指導者へ提出、協議を行う	事前学習	実習で学びたいことを言語化する
		事後学習	実習計画の修正、完成させる、実習指導者からの指導を受けるためのアポイントメントをとる
第4回	・事前訪問に向けた準備 ・事前訪問の目的と意義の確認 ・スーパービジョンと巡回指導の理解 ：スーパービジョンについて理解する ：巡回指導の目的と内容を理解する ：スーパーバイザーとの協議に関する説明と確認 ・個人情報保護について ：実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解 ：実習中の記録等の取扱いに関する具体的注意事項	事前学習	テキスト該当項目を熟読する 「実習の手引き」を熟読し、実習中の留意事項を確認する、不明な点を下記だし授業時に質問する準備をする
		事後学習	授業での学びと気づきをまとめる
第5回	・実習の振り返り：帰校指導記録を用いた報告 実習実施上の問題点等について帰校指導記録を用いた検討	事前学習	お礼状の郵送、実習記録の整理
		事後学習	報告のための資料準備
第6回	・実習の振り返り：実習実施上の問題点等について検討 ・事例検討の意義と方法	事前学習	授業での学びと気づきをまとめる
		事後学習	報告のための資料準備
第7回	・精神保健福祉実習（A実習）に向けての準備：A実習における実習課題の説明 ・実習施設概要、実習計画の作成	事前学習	実習についての課題を書き出す
		事後学習	実習計画の修正、完成させる、実習指導者からの指導を受けるためのアポイントメントをとる
第8回	・精神保健福祉実習（A実習）に向けての準備：A実習における実習課題の説明 ・実習施設概要、実習計画の作成	事前学習	実習についての課題を書き出す
		事後学習	実習計画の修正、完成させる、実習指導者からの指導を受けるためのアポイントメントをとる
第9回	・精神保健福祉実習（A実習）に向けての準備：A実習における実習課題の説明 ・実習施設概要、実習計画の作成	事前学習	実習についての課題を書き出す
		事後学習	実習計画の修正、完成させる、実習指導者からの指導を受けるためのアポイントメントをとる
第10回	・見学実習（事前訪問）に向けての準備 ※精神保健福祉実習開始前までに実習指導Ⅲ担当教員から添削指導を受けた実習計画を実習指導者へ提出、協議を行う。	事前学習	実習の手引き、事前訪問の項目を確認する
		事後学習	スーパーバイザーと協議したい点を明文化しておく
第11回	・見学実習（事前訪問）の総括：実習計画に関する実習指導者との協議事項を踏まえて実習計画の完成 ・精神保健福祉実習第A実習に向けた事前準備の最終確認：学習のまとめと、A実習開始に向けての課題整理	事前学習	事前訪問報告書の作成
		事後学習	実習プログラム案を必要に応じて修正する 巡回担当教員挨拶用紙の作成
第12回	・実習の振り返り：実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成	事前学習	A実習での学びを振り返る
		事後学習	ディスカッションによる新たな気づきをまとめる
第13回	・実習の振り返り：実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成	事前学習	自己の実習を振り返る 実習総括レポートの作成、発表の準備をしておく。
		事後学習	事後学習を通して、再度自己の実習を振り返り実習での学びをまとめる
第14回	・実習の評価全体総括会（実習成果発表会①）	事前学習	自己の実習を振り返る 実習総括レポートの作成、発表の準備をしておく。
		事後学習	事後学習を通して、再度自己の実習を振り返り実習での学びをまとめる
第15回	・実習の評価全体総括会（実習成果発表会②）	事前学習	自己の実習を振り返る 実習総括レポートの完成
		事後学習	実習を通しての自己の成長と課題をまとめる

備考：実習に関する主な事項と授業回数との関連

実習/実習コンピテンス関連事項	時期	授業回数との関連	*おおよその目安、変動あり
A実習開始	7月第3週より	休講期間に18日間以上かつ140時間以上	

帰校日指導	実習中	2 回実施
A 実習終了	8 月上旬	
A 実習事後指導	8 月下旬～9 月	第 13 回～第 15 回
セルフアセスメントの実施⑤	B 実習終了後	実習終了後各自実施し、実習記録に閉じて提出する
B 実習先決定・発表	4 月中旬	第 1 回～第 2 回あたりで発表
★実習先「施設概要」下書き提出	5 月下旬	第 4 回あたり
セルフアセスメントの実地④	5 月下旬	B 実習前に実施
B 実習先事前訪問	5 月下旬	
セルフアセスメントの実施⑥	B 実習終了後	実習終了後各自実施し、実習記録に閉じて提出する
B 実習事後指導	6 月下旬	第 5 回～第 6 回